

令和3年度 自己評価結果

認定こども園帝京長岡幼稚園

園の教職員の自己評価に合わせて、保護者の皆様、外部からも評価を頂き、今年度の園運営や教育活動の総括と次年度の改善に向けての課題等をまとめました。

園の教育方針

課 題 別 自 己 評 価	
*本園の教育目標 自主・・・自分のことは自分でやりぬくがんばる子 礼節・・・やくそくをまもるきまりのよい子 友愛・・・友達を思いやる優しい子	
令和3年度重点目標・・・意欲的にいきいきと活動を楽しむ子ども *重点目標(1) 健康で豊かな生活を送れるようにするために、様々な経験を積み重ね、意欲的態度を身につける。 評価項目 ①伸び伸びと意欲的な幼稚園生活を送る。 ②幼稚園の様々な活動の中で、一人ひとりが個性を発揮できるようにする。 ③様々な人と関わる場で挨拶をする心地良さを味わえるようにする。	
保護者アンケート ① 子どもが達が伸び伸びと活動し、充実した園生活ができるようにしている。 90 10 伸び伸びと活動していると思う まあまあ思う	(%)
② 個性を大切にしながら各年齢の発達に応じた関わりを重視している。 91 9 発達に応じた関わりに満足している やや満足している	
☒ 登園時、降園時など年齢なりに気持ちよく挨拶が出来るように指導している。 72 27.5 0.5 年齢なりに挨拶がよくできていた まあまあできていた できない	

※重点目標2

学年を超えた関りが持てるように様々な経験をしたり、触れ合いの温かさを感じたりして、思いやりの心をはぐくむ。

評価項目

- ①保護者との連携を図りながら健やかな心と身体を育成する。
- ②異年齢での交流の機会や遊びの場を設け、発達に応じた関りを経験から学ぶ。
- ③経験したことを保護者や地域の方から励ましをうけ、自信へとつなげていくようにする。

保護者アンケート 重点目標（2）

0. (%)

- ① 保護者との連携を図り、成長の様子を伝え共有できるようにしている。

66

33.5

- 保育者と話げできた
- まあまあできた
- できない

- ② 異年齢の交流を意図的に設け、思いやりの気持ちや憧れの気持ちが持てるようにする。

72

28

- 異年齢交流の中で親しみなどが育っている
- まあまあ育っている

- ☒ 行事などに取り組む過程を重視しながら励ますようにしている。

50

47

3

- 満足している
- 大体満足している
- 満足していない

重点目標3

※多様な経験を通して、たくましい心と身体を育成する。

評価項目

- ① 自然災害時などの意識づけを促し対応を身につける。
- ② 身近な植物や収穫物などに興味を示し、食育に興味を持

保護者アンケート

1

- ① 火災、自然災害、感染症など繰り返し訓練し、保護者と連携して身を守れるようにしている。

34

65

- 安全教育について家庭で話題にしている
- 時々話題にしている
- 話題にならない

- ② 様々な教材を工夫し管理栄養士による食育の話を月1回実施し食べる喜びを高めるようにしている

90

10

- 給食について満足している
- 大体満足している
- 満足していない

令和3年度外部評価報告書

- ・評価者 ・長岡市立 小学校長 ・市内私立幼稚園 園長
 ・帝京蒼柴学園 法人代表 ・認定こども園帝京長岡幼稚園 前園長
- ・評価日時 令和4年2月16日(水) 実施した保育をDVDにまとめ各評価者に送付
- ・内 容

5歳児

幼児期に育ってほしい10の姿のうち「言葉での伝え合い」を特に意識した活動になっています。経験したことや考えたことなどを言葉で伝えたり、相手の話を注意して聞いたりし、言葉による伝え合いを楽しみながら協力して活動を進めてほしいと願っています。

4歳児

10の姿のうち、「共同性」を特に意識した活動となっています。廃材を利用した制作活動が好きな子が多く、また年長組のように自分たちもお客さんと呼んで一緒に楽しみたいという話し合いから、本日の活動になりました。共通の目的の実現に向けて、考えたり工夫したり協力したりする経験を大切に、共に成長してほしいと願っています。

3歳児

10の姿のうち「豊かな感性と表現」を特に意識した活動になっています。お面作り、劇遊びでの言葉のやりとりや全身での表現など、それぞれの様子をご覧いただけたらと思います。友達と一緒に表現する事を楽しんだり表現する喜びを味わい友達の輪が広がってくれる事を願っています。

2歳児(満3歳児)

10の姿のうち「健康な心と体」を特に意識した活動になっています。大好きな「はらぺこあおむし」のお話に親しみを持ち運動遊びや集団遊びに積極的に取り入れ遊びの中で友達とかかわり喜び合う姿や、表現する楽しさを味わってほしいと願っています。

各年齢当日の指導案にそって公開保育を行い「教育の捉え方」「園児の様子から」「保育者として」19項目5段階評価をする。

- ・結 果 2歳児（満3歳児）、3歳児、4歳児、5歳児の4年齢(19項目5段階評価)

評価項目	A年齢	B年齢	C年齢	D年齢
教育の捉え方(4項目)	5.0	5.0	4.0	4.8
園児の様子から(5項目)	4.8	5.0	4.4	5.0
保育者として(10項目)	5.0	4.9	4.4	4.6

評価内容 教育関係者からの評価であったので、専門的立場から評価をいただくことができた。また具体的改善点もお示しいただく。

教育の捉え方

- ・ねらい、前週までの姿、予想される活動やそれを支える環境構成等明確です。
- ・絵本の中の主人公になりきって模倣ができるようになる年齢になり、現実という枠を越えて想像の世界に入れるという大きな力を獲得していくので、その意味で今回の活動は適切であったと思う。
- ・ねらいに対して活動内容や、環境構成、指導のポイントはどれも適切でした。
- ・この童話は年齢相応で子どもたち自身も内容がわかりやすくアレンジできるため適切であると思う。

- ・日々の充実した教育活動を職員の自己評価等から感じ学ぶことができました。
- ・園児たちが集中して遊ぶことのできた環境設定だと思います。

園児の様子から

- ・「おどり」の言葉に大きな反応。身体を動かしたいのですね。「かっていい」の言葉にも反応。褒められると嬉しいですね。「設計図」難しい言葉だと思いますが意味が解るのですね。
- ・お互いに思ったことを安心して話したり、聞いたりしていました。先生と子ども、子ども間が良い関係ですね。
- ・返事、歌声、関わり方などとても伸び伸びとして、自信を持っている様子が伝わってきました。
- ・今回は、DVD視聴であったため、園児の見えるところに居なかったのも、緊張せずいつもの自然な姿で、集中できたと思います。
- ・サーキット遊びは年齢にあった無理のない活動で子ども達も楽しそうに参加していてよかった。
- ・どの子どもも自分の役になりきって、楽しさがこちらにも伝わってきました。
- ・年齢以上にしっかりしていて集中力とまとまりのあるクラスである。
- ・園児が楽しそうに活動していた。3人の担任との信頼関係が構築されていると感じた。
- ・日頃の保育が成長を促しているものと感心し、今後その力を土台とし自ら創造し、活動を展開してくれることを期待します。

保育者として

- ・保育者同士の連携がきちんとなされており、子ども達一人ひとりに接したり声掛けを行うのに絶妙な距離間隔で保育を実践していた。
- ・子ども達一人ひとりを大切にされている様子が、先生方の言葉や表情からよく伝わってきました。温かな雰囲気です。
- ・春夏秋冬で子ども達の思い出を思い起こさせて、気持ちが活動に向かうようにしていたところが、子ども達の気持ちに添っていて良かった。
- ・保育者の指示が的確、明確であり、友だちとの思い出を自分の言葉で話していました。保育者の連携が見事で活動や遊びへの見通しを持って進めていたので子ども達は安心して活動ができていた。
- ・子どもたちのつぶやきを丁寧に受け止めたり、共感したり、理解したりしてイメージを共有させたり膨らませたりしていたので、集中して聞くことが出来ていた。
- ・保育者のチームワークが良く、役割をしっかりと打ち合わせてあり、次々準備を進めて無駄がなかった。
- ・保育室も清潔で座った時の園児や保育者の靴の裏もととてもきれいで清潔が保たれていると感じた。
- ・担任の先生方が、協力しながら園児を見ているので安心感が持てました。
- ・活動がスムーズなのはチームワークが良く、子ども達の活動の様子を見ながら臨機応変に対応していた。
- ・ゆとりのあるスペースで保育者が連携をとりながら、子ども達の活動しやすいように促していました。
- ・保育者のよく通る声のトーンとそれに反応する子ども達のやりとりがとてもリズムカルに行われていた。
- ・制作時に、子どもがハサミを使用していたが、カバーをしないで持ち歩いていたので、複数の目で危険性を察知することが大切と感じた。
- ・子ども達全体の落ち着いた雰囲気が保たれ、安心して成長していける支えとなっていると感じました。
- ・コロナ禍ではなかったら、是非生の保育を見たかったのですが、残念な気持ちがあります。

今後の改善点・工夫点

- ・子どもの持てる力を生かすための一人ひとりの働きかけの工夫。
- ・丁寧な説明の重要性と活動内での安全性の確認。(ヒヤリハット含む)
- ・複数担任の役割分担についての工夫や確認。
- ・感染症に対する今後の取り組みについての改善や工夫。衛生面の確認。